

講義科目 : 工業簿記および原価計算	単位数 : 2
担 当 : 藤田 美咲	学習形態 : 選択科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

この地域を支える製造業における取引の記録システムである工業簿記と、製品原価の計算について理解することを目的とします。

最終的に日本商工会議所簿記検定 2 級の工業簿記レベルの基礎力を修得することを目標とします。

授業計画

テキストに沿って、おおよそ以下のように進めていく予定ですが、受講生の状況によって修正をしていきます。

- 第1回 ガイダンス、工業簿記の基礎、工業簿記の勘定連絡
- 第2回 材料費
- 第3回 材料費、労務費
- 第4回 労務費、経費
- 第5回 個別原価計算
- 第6回 個別原価計算
- 第7回 個別原価計算
- 第8回 総合原価計算
- 第9回 総合原価計算
- 第10回 総合原価計算
- 第11回 標準原価計算
- 第12回 標準原価計算
- 第13回 直接原価計算
- 第14回 CVP分析
- 第15回 本社工場会計、財務諸表の表示、まとめ

教材・テキスト・参考文献等

(テキスト) 「合格テキスト 日商簿記 2 級 工業簿記」 TAC出版

成績評価方法

出席は毎回とります。

全授業回数の 3 分の 1 を超えて欠席すると、評価の対象外とします。

試験 80% に平常点 (出席状況、講義中の態度) 20% を加味して判定します。

実務経験

公認会計士としての監査法人勤務経験があり、現在は税理士として税理士法人を運営。当該実務経験をもとに実際の企業における会計・税務実務や管理会計の状況、経営手法や現代企業における課題などについても織り交ぜます。

その他

講義には電卓をご用意ください。

本講義は簿記 3 級程度の基本的な簿記の知識があることを前提としております。